

BELS 評価書作成プログラム（以下、作成 PG）Ver.8.0.0 より、非住宅において以下の内容が追加となります。なお、住宅において変更・修正はありません。

- ① 申請の対象とする範囲（以下、申請対象範囲という）に、「建物用途」の追加
- ② 「ZEB Oriented」の表示の追加

また、上記に伴い「その他情報」の入力欄を追加しています

※ 定義等は、2019 年 7 月 2 日付の「ZEB Oriented 及び一部の建物用途における ZEB の BELS における考え方について」を参照して下さい。

①

The screenshot shows the '申請の対象とする範囲' (Range of application) section. A red box highlights the '建物用途' (Building Use) dropdown menu. The menu is open, showing options: '建物（非住宅建築物全体）', '建物（複合建築物全体）', 'フロア', 'テナント', '部分（非住宅）', '複合建築物の部分（非住宅部分全体）', '建物用途', '-----', '住宅', '住棟', '住戸（共同住宅等・複合建築物の住戸部分）', '住戸（店舗等併用住宅における住戸部分）', '部分（住宅）', and '複合建築物の部分（住宅部分全体）'. A red arrow points from the '掲載承諾書に係る内容' (Content related to the publication consent) section to the '建物用途' option. A red box on the right contains the text '申請対象範囲「建物用途」の追加' (Addition of 'Building Use' to the application range).

②

The screenshot shows the '特記事項について' (Regarding special notes) section. A red box highlights the 'ZEB Oriented' dropdown menu. The menu is open, showing options: 'ZEB Oriented', '選択してください', '『ZEB』', 'Nearly ZEB', 'ZEB Ready', 'ZEB Oriented', '『ZEH』', 'Nearly ZEH', 'ZEH Ready', 'ZEH Oriented', 'ゼロエネ相当', '『ZEH-M』', 'Nearly ZEH-M', 'ZEH-M Ready', and 'ZEH-M Oriented'. A red arrow points from the '再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率' (Reduction rate of primary energy consumption from the standard primary energy consumption excluding renewable energy) section to the 'ZEB Oriented' option. A red box on the right contains the text '「ZEB Oriented」の追加' (Addition of 'ZEB Oriented').

1. 申請の対象とする範囲「建物用途」の評価の入力方法

(1) 非住宅・計算情報の入力

評価対象の「建物用途」の計算書のみ PDF のアップロードを行うか、または当該内容を手入力する。

(2) その他情報の入力

ZEB の表示を行う場合は、評価対象となる「建物用途」の計算書及び「建物（非住宅建築物全体）」又は「複合建築物の部分（非住宅部分全体）」（以下、「建物（非住宅建築物全体）」等という）の計算書が必要です。また以下の項目の入力が必要です。

【特記事項について】

表示するマークを選択。

評価対象の「建物用途」の再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率（以下、再エネ除き削減率という）を入力。

特記事項について	
「ZEB マーク」又は「ZEH マーク」、「ゼロエネ相当」、「ZEH-M マーク」に関する事項	ZEB Oriented ▼ ※左記の表示は、要件を確認の上行ってください。システム上表示可能であっても表示要件を満たさない場合がございます。
再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率	40 %
再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率	- ※非住宅部分全体を対象としたZEH-Mになっている場合の、再生可能エネルギーの削減量は、総発電量を床面積で按分した値を用いて算定してください。

評価対象の「建物用途」の再エネ除き削減率を入力する

注意

申請の対象とする範囲「建物用途」において ZEB Oriented を表示する場合、プログラムでは当該「建物用途」が用途 1、用途 2 のどちらに該当するか判断しません。また当該用途の入力した再エネ除き削減率が基準を満たすのかも判断しません。

※ 再エネ除き削減率が 30%未満の場合、その他情報の入力内容確認後にアラートが出ます。

※ 用途 1 は削減率 40%以上、用途 2 は削減率 30%以上の数値を入力。

【部分 ZEB 表示要件】※部分とは建物用途を指します

＜建築物（非住宅部分）全体の再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギーからの削減率＞

→ 建築物（非住宅部分）全体の再エネ除き削減率を入力

＜建築物（非住宅部分）全体の評価手法＞

→ 建築物（非住宅部分）全体の評価手法を選択 ※「建物用途」の評価手法と異なっても可

部分ZEBの表示要件 ※部分とは建物用途を指します。	
非住宅部分の再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギーからの削減率 ※申請対象範囲が建物用途の場合のみ入力	%
非住宅部分全体の評価手法 ※申請対象範囲が建物用途の場合のみ入力	選択してください

建築物（非住宅部分）全体の「再エネ除き削減率」「評価手法」を入力する

【ZEB Oriented の表示要件】

入力不要。

- ※ 申請の対象とする範囲、「建物（非住宅建築物全体）」又は「複合建築物の部分（非住宅部分全体）」の場合に入力。

ZEB Orientedの表示要件		
再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギーからの削減率 (用途1) ※建物（非住宅建築物全体）又は複合建築物の部分（非住宅部分全体）の場合のみ入力	事務所等	(%)
	学校等	(%)
	工場等	(%)
再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギーからの削減率 (用途2) ※建物（非住宅建築物全体）又は複合建築物の部分（非住宅部分全体）の場合のみ入力	ホテル等	(%)
	病院等	(%)
	百貨店等	(%)
	飲食店等	(%)
	集会所等	(%)

「建物用途」の場合
入力不要

【参考情報】

＜部分 ZEB／ZEB Oriented の要件＞ ※部分 ZEB の部分とは建物用途を指す

→ 申請の対象とする範囲が「建物用途」で、ZEB を表示する場合は必ず入力が必要。

評価対象の「建物用途」の延べ面積が 10,000 m²以上かどうか、申請書を確認し入力。

※延べ面積の定義は、建築物省エネ法上の定義に準拠する

＜ZEB Oriented 導入した未評価技術について＞

→ 申請書より導入している未評価技術をチェックする。

参考情報		
ZEH Orientedの要件	☐ 適合 ☒ -	※申請対象範囲が住宅又は住戸（店舗等併用住宅における単位住戸）でZEH Orientedを表示させる場合のみ入力。
部分ZEB / ZEB Orientedの要件 ※部分ZEBの部分とは建物用途を指します。	評価対象用途の延べ面積が10,000m ² 以上	☒ 適合 ☐ -
ZEB Oriented 導入した未評価技術について	CO2濃度による外気量制御	☒ 有 ☐ -
	自然換気システム	☒ 有 ☐ -
	空調ポンプ制御の高度化	☒ 有 ☐ -
	空調ファン制御の高度化	☒ 有 ☐ -

この2つを満たさない場合、ZEB Oriented の表示はできません。

2. 申請対象範囲が「建物（非住宅建築物全体）」又は「複合建築物の部分（非住宅部分全体）」で、ZEB Oriented を表示する場合（※申請の対象とする範囲が「建物用途」場合は、1. を参照）

「建物（非住宅建築物全体）」等の計算書と、当該非住宅部分に存する建物用途すべての計算書が必要になります。

※「建物（非住宅建築物全体）」等及び各建物用途の計算書の評価手法は全て同一の必要があります。

（１） 非住・計算情報の入力

「建物（非住宅建築物全体）」等の計算書の PDF アップロードを行う、または当該内容を手入力する。

（２） その他情報の入力

【特記事項について】

再エネ除き削減率の入力不可。これより下の【ZEB Oriented の表示要件】で入力する。

特記事項について	
「ZEB マーク」又は「ZEH マーク」、「ゼロエネ相当」、「ZEH-M マーク」に関する事項	ZEB Oriented ▼ ※左記の表示は、要件を確認の上行ってください。システム上表示可能であっても表示要件を満たさない場合がございます。
再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率	- 再エネ除き削減率は【ZEB Oriented の表示要件】で入力
再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率	- ※非住宅部分全体を対象とした Z E B において、太陽光発電を住宅部分と共有している場合の、再生可能エネルギーの削減量は、総発電量を床面積で按分した値を用いて算定してください。

【部分 ZEB の表示要件 ※部分とは建物用途を指す】

入力不要。

部分ZEBの表示要件 ※部分とは建物用途を指します。	
非住宅部分の再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギーからの削減率 ※申請対象範囲が建物用途の場合のみ入力	%
非住宅部分全体の評価手法 ※申請対象範囲が建物用途の場合のみ入力	選択してください

入力
不要

【ZEB Oriented の表示要件】

非住宅部分に存する全ての建物用途の再エネ除き削減率を入力する。

ZEB Oriented の表示要件		
再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギーからの削減率 (用途1) ※建物（非住宅建築物全体）又は複合建築物の部分（非住宅部分全体）の場合のみ入力	事務所等	40 (%)
	学校等	(%)
	工場等	(%)
再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギーからの削減率 (用途2) ※建物（非住宅建築物全体）又は複合建築物の部分（非住宅部分全体）の場合のみ入力	ホテル等	(%)
	病院等	(%)
	百貨店等	(%)
	飲食店等	30 (%)
	集会所等	30 (%)

入力例は、3つの用途がある場合

【参考情報】

<部分 ZEB/ZEB Oriented の要件>

- 建築物（非住宅部分）全体の延べ面積が 10,000 m²以上かどうか、申請書を確認し入力。
※延べ面積の定義は、建築物省エネ法上の定義に準拠する

<ZEB Oriented 導入した未評価技術について>

- 申請書より導入している未評価技術をチェックする。

参考情報		
部分ZEB/ZEB Orientedの要件 ※部分ZEBの部分とは建物用途を指します。	建築物（非住宅部分）全体の延べ面積が10,000m ² 以上	☒ 適合 ☐ -
ZEB Oriented 導入した未評価技術について	CO2濃度による外気量制御	☐ 有 ☒ -
	自然換気システム	☐ 有 ☒ -
	空調ポンプ制御の高度化	☒ 有 ☐ -
	空調ファン制御の高度化	☐ 有 ☒ -
	冷却塔ファン・インバータ制御	☐ 有 ☒ -
	照明のゾーニング制御	☐ 有 ☒ -
	フリークーリングシステム	☐ 有 ☒ -
	デシカント空調システム	☐ 有 ☒ -
	クール・ヒートトレンチシステム	☐ 有 ☒ -

この2つを満たさない場合、ZEB Oriented の表示はできません。